

CASBEE_Sapporo2014v1.0
 (仮称)札幌パルナバフーズ新工場

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.0
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階			重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理				
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									2.9
Q1 室内環境						0.30			2.7
1 音環境					3.0	0.15			3.0
1.1 騒音					3.0	0.40			
1.2 遮音					3.0	0.40			
1 開口部遮音性能					3.0	0.60			
2 界壁遮音性能					3.0	0.40			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					3.0	-			
1.3 吸音					3.0	0.20			
2 温熱環境					2.6	0.35			2.6
2.1 室温制御					3.0	0.50			
1 室温		W			3.0	0.38			
2 外皮性能					3.0	0.25			
3 ソーン別制御性					3.0	0.38			
2.2 湿度制御					1.0	0.20			
2.3 空調方式					3.0	0.30			
3 光・視環境					3.1	0.25			3.1
3.1 昼光利用					3.0	0.30			
1 昼光率					3.0	0.60			
2 方位別開口					3.0	-	3.0		
3 昼光利用設備		W			3.0	0.40			
3.2 グレア対策					3.0	0.30			
1 昼光制御		W			3.0	1.00			
3.3 照度					4.0	0.15			
3.4 照明制御				工場部分で500~700lx	3.0	0.25			
4 空気質環境					2.6	0.25			2.6
4.1 発生源対策					3.0	0.50			
1 化学汚染物質					3.0	1.00			
2 有害材料					3.0	-			
4.2 換気					3.0	0.30			
1 換気量					3.0	0.33			
2 自然換気性能					3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮					3.0	0.33			
4.3 運用管理					1.0	0.20			
1 CO ₂ の監視					1.0	1.00			
2 喫煙の制御					-	-			
Q2 サービス性能						0.30			3.1
1 機能性					3.5	0.40			3.5
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40			
1 広さ・収納性					3.0	0.33			
2 高度情報通信設備対応					3.0	0.33			
3 バリアフリー計画					3.0	0.33			
1.2 心理性・快適性					3.3	0.30			
1 広さ感・景観					3.0	0.33	3.0		
2 リフレッシュスペース					3.0	0.33			
3 内装計画				工場部分は、水洗い可能な塗床仕上げとし、床排水設備を適宜設けた	4.0	0.33			
1.3 維持管理					4.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計				壁面は清掃の容易な、断熱パネル仕上げとした	5.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保				施主要望を取り入れ、清掃用具室を適宜設置した	4.0	0.50			
3 維持管理業務					-	-			
2 耐用性・信頼性					3.0	0.30			3.0
2.1 耐震・免震					3.0	0.50			
1 耐震性					3.0	1.00			
2 免震・制振性能					-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	0.30			
1 躯体材料の耐用年数					3.0	0.25			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		W			-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		W			3.0	0.13			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		W			3.0	0.13			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		W			3.0	0.25			
6 主要設備機器の更新必要間隔		W			3.0	0.25			
2.4 信頼性					3.4	0.20			
1 空調・換気設備				工場内のエリア毎に空調換気ゾーニングを行った	5.0	0.20			
2 給排水・衛生設備				節水型器具を採用し、井水利用が可能な設備とした	4.0	0.20			
3 電気設備					3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法					3.0	0.20			
5 通信・情報設備					2.0	0.20			
3 対応性・更新性					2.7	0.30			2.7
3.1 空間のゆとり					3.0	0.30			
1 階高のゆとり					3.0	0.60			
2 空間の形状・自由さ					3.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.30			
3.3 設備の更新性					2.4	0.40			
1 空調配管の更新性					3.0	0.29			
2 給排水管の更新性					-	-			
3 電気配線の更新性					3.0	0.14			
4 通信配線の更新性					-	-			
5 設備機器の更新性					1.0	0.29			
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.29			

CASBEE_Sapporo2014v1.0
(仮称)札幌パルナファーズ新工場

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.0
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.1)

スコアシート	実施設計段階	重点評価項目: W 省エネルギー、G 緑化、S 雷処理			建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		重点評価項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数		
配慮項目		W	G	S					
Q3 室外環境(敷地内)						0.40			3.0
1 生物環境の保全と創出			G		3.0	0.30			3.0
2 まちなみ・景観への配慮			G		3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				S	3.0	0.30			3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				S	3.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上		W	G		3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性									3.0
LR1 エネルギー						0.40			3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		W							
2 自然エネルギー利用		W			3.0	0.13			3.0
3 設備システムの高効率化					BEI 非住宅 0.94 住宅(専有部) -	3.0	0.63		3.0
集合住宅以外の評価(3a,3b)		W			3.0	1.00			
集合住宅の評価(3c)		W							
4 効率的運用					3.0	0.25			3.0
集合住宅以外の評価					3.0	1.00			
4.1 モニタリング		W			3.0	0.50			
4.2 運用管理体制		W			3.0	0.50			
集合住宅の評価									
4.1 モニタリング		W			3.0				
4.2 運用管理体制		W			3.0				
LR2 資源・マテリアル						0.30			2.7
1 水資源保護					3.0	0.20			3.0
1.1 節水					3.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60			
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	0.70			
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減					2.5	0.60			2.5
2.1 材料使用量の削減		W			2.0	0.10			
2.2 既存建築躯体等の継続使用		W			3.0	0.20			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		W			3.0	0.20			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		W			1.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材		W			3.0	0.10			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		W			3.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.0	0.20			3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避					3.0	0.70			
1 消火剤		W							
2 発泡剤(断熱材等)		W			3.0	0.50			
3 冷媒		W			3.0	0.50			
LR3 敷地外環境						0.30			3.3
1 地球温暖化への配慮					ヒートポンプ空調機等の省エネ型設備を採用した	5.0	0.33		5.0
2 地域環境への配慮						2.5	0.33		2.5
2.1 大気汚染防止		W				3.0	0.25		
2.2 温熱環境悪化の改善		W	G	S		2.0	0.50		
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.2	0.25		
1 雨水排水負荷低減		W			雨水貯留槽を設け、雨水流出抑制を図った	4.0	0.25		
2 汚水処理負荷抑制		W				3.0	0.25		
3 交通負荷抑制						3.0	0.25		
4 廃棄物処理負荷抑制		W		S		3.0	0.25		
3 周辺環境への配慮						2.4	0.33		2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40		
1 騒音						3.0	0.33		
2 振動						3.0	0.33		
3 悪臭						3.0	0.33		
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制						1.6	0.40		
1 風害の抑制						1.0	0.70		
2 砂塵の抑制									
3 日照阻害の抑制						3.0	0.30		
3.3 光害の抑制						3.0	0.20		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						3.0	0.70		
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30		